

農繁託兒所に就て

倉 橋 惣 三

四

農繁託兒所は我國の幼兒問題として、近來著しく社會の注意をひいて來た。必ずしも今日に始まつたものではないが、此の數年來の普及は最も急速であつて、全國的事實となつてゐる。一縣數百の施設を見るもあり、少いところでも年と共にぐんぐ増加する。而して之れは決して、新施設に伴ひ勝ちの流行政のものではない。一とたび其の施設を経験すれば、必ず全村の理解と要求とを以て、切實に促進せられて來るのである。

實際、農繁季に於ける農村の實情は、今まで何故に早く此の施設が行はれなかつたか。よくも、此の種の施設なしに過ぎて來たものであるといふことを、怪しみ解し難からしむる他はない。田植、刈り入れ、養蠶の各時期に於て、全家、全村總動員の激忙は、親をして幼き我子のために、寸時の顧みにさへ暇なからしめるのである。その爲に、大小種々なる恐るべき事故が、可憐なる幼兒の上に發生することも、殆んど已むを得ないことのようにさへ思はれ、仕方がないとして諦められてゐる位である。しかも

農繁季に於ける農村家庭の此の繁忙は、決して各家の私事としてのみ目すべきものでなく、實に國民生活に密接なる關係を有する社會的公事といふべきである。すなはち、農家は年に幾度びか、社會的職責のために我が幼き子等の愛護を犠牲に供してゐるといつてよい。之に對して、必ず速かに適當の施設を講ずることは社會當然の責務たらざるを得ぬ。茲に於て、人の急に趁くの心と、社會的責務の心とからして、切迫せる社會事業の精神を發動して來るのである。

しかも、此の施設が、單なる生活保護の意義に止まるものでなく、苟も兒童の問題である以上、廣き意味の教育性を有するものであり、農家の親としての願ひも、單なる我子の預り所といふのみならず、親の愛、親の周到に代つて、その愛育の缺陷を補つて貰ひたひ心にあるは勿論である。然らば即ち、廣義に於ける家庭教育の補充を含むものであつて、幼稚園の社會的職能と別のものではない。たゞ異なるはそれが臨機のことであり、短期の施設であり、従つて、その實施の方法と、保育の徹底に對する期待を異にするのみである。但し、斯くいふは、農繁託兒所が常置の幼稚園らしき形に於て行はるべきことを説かんとするのではない。幼稚園教育に理解と熱意とをもつ人々が、當然此の施設に留意と熱心とをもつべきことを主張するのである。

二

農繁託兒所の經營の實際に就ては、茲に記述しない。此の新らしい施設の普及と正しき示向の爲に小

冊子「農繁託児所の經營」(本誌廣告參照)を刊行して置いたから、それに就て讀まれんことを希望する。たゞ私が本誌の讀者に説きたいことは、諸君が、幼稚園の専門家として、此の問題のために、出来るだけの力を貸されんことである。

若し諸君の幼稚園が農村にあるならば、特に農繁季の特別事業として、平生の園児以外に、その村の幼児一般のために直接の力を願かたれない。或は、必ずしも幼稚園の臨時解放といふことが許されないとしても、村内の農繁託児所の促進と、及びその充實のために力の一部を與へられたい。元來、農繁託児所の従事者は、施設の性質上、必ずしも、幼児保育者として充分の經驗を有する人ばかりを得られない。その人々の爲に、諸君の一寸した加勢や時々参加が、どの位有益のものであるか分らない。

若し諸君の幼稚園が都市のものであるならば、密接な参加は望み難いことであるが、少くも同縣下に於ける此の事業の状態に留意して、幼児保育の先進者としての後援を與へられたい。午後の時間でも利用して、近くの村落に向いて、新しい同志の人々を見舞つて下さることも嬉しい。殊に、諸君の中から女子師範學校の附屬幼稚園の方々は、岡山縣や千葉縣の例の如く、其の縣下の幼児保育に對する平生からの指導的職責を此の方面にも擴張して、是非とも大に貢獻して貰ひたい。縣の事務系統としては、農繁託児所は社會課の管掌にあるが普通である。その爲に、教育課の管掌にある學校、幼稚園が、何となくよそごといふ態度をとつたりする風もあつたりするが、同じく、幼児問題に留意するものとして

そんな譯のものではあるまいと信ずるのである。

三

兎に角くにも、農繁託児所は、その切迫せる急務から見て、極めて重要な施設たるは言ふまでもないが、特に幼稚園の諸君に留意を乞ひ度い點としては、更に、其の上の問題がある。すなはち、此の、眞に土からは、え出た施設がもとになつて、その村の、幼児保育に關する全般的理解が促され、臨時施設から常置施設へと、農村幼稚園の發達の因をなすことである。幼稚園が、家庭教育を補ふといふ目的に於て、決して、都會ばかりに必要なものでないことは言ふまでもない。しかも、現在に於ては、農村に於ける幼稚園の發達は極めて少ない。之れは、われ等の常に遺憾としてゐることであるが、農繁託児所の經驗が、農村の人々に其の必要を考へさせることは、決して稀でないのである。農繁託児所の一つ／＼が、皆、常置の幼稚園になるといふような必要はないであらう。しかし、各村に一つ二つの幼稚園が設けられるに至らば、どの位大きな意義をもつことかと思ふのである。農村の幼稚園は、都會の幼稚園とは、種々の點に於て形も異なるであらうが、それには、農繁託児所の如き、眞に其の村のものらしいものから發達してゆくのが、極めて自然の順序といつていゝかも知れない。

何せよ。農繁託児所は、我國の幼兒問題中の新らしい留意を要求してゐるものである。